

アメリカにいる日本人、日本にいる日本人の多くは、アメリカの新聞を見て、始めて日本の福島県に、そんな世界的英雄がいるのかということを知りました。

ラヂオ・コーポレーションの社長エー・エスベル氏は、日本のケー・ヨネムラ氏にあてて、手紙を書きました。

それは、「ケー・ヨネムラさん。私は旅行先から只今帰って来ました。そして米国で発行してある主なる大新聞を一通り見まして、あなたと、あなたの局に働いておられる皆様の通信上の大きな功に対して、非常な感謝を致します。と同時に吾がラヂオ・コーポレーションの社長一同が、よく働いた事に対しても満足に思いました。あなた方と、私達、この二つの機関がこんなに力を合わせて、仕事をしますならば、何物もこれを打ち負かすことは出来ません。實に善い仕事をさせて下さいましたあなたに対して此の上もなき深き感謝をいたします。」といふのです。

イスベル氏は此の手紙に金一千円を添えて、日本のケー・ヨネムラ氏に贈りました。

千九百二十三年九月一日の恐ろしい出来事から、日本の福島県双葉郡富岡町の磐城無線電信局に「世界の歴史にいつまでもいつまでも記憶せらるべき K.Yonemura という英雄」のある事を、世界各国に知られました。

以上の文は、作家沖野岩三郎氏が「童話読本」の事実童話編に「世界の英雄」として米村局長と富岡局職員の活躍を童話化し発表した一編を原文のまま記載しました。

☆沖野岩三郎著 童話読本「海を越えて」金の星社 昭和2年出版 編集長 野口雨情

童話読本 表題「海を越えて」この中の一編が「世界の英雄」です。

(国際児童図書館(東京・上野)の資料室に1冊のみ保管)



米村嘉一郎富岡局長



作者 沖野岩三郎氏



編集長 野口雨情氏